



第99期中間経営報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

CREATIVE CONNECTIVITY

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第99期中間期（2020年4月1日～2020年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年11月

代表取締役社長 池田 靖光



当中間期における世界経済は、第1四半期には新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞により急激な景気後退を余儀なくされることとなりました。第2四半期に入り各国政府の財政支援もあり景気は持ち直しを見せたものの、新型コロナウイルスと共存する状況には変わりなく、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

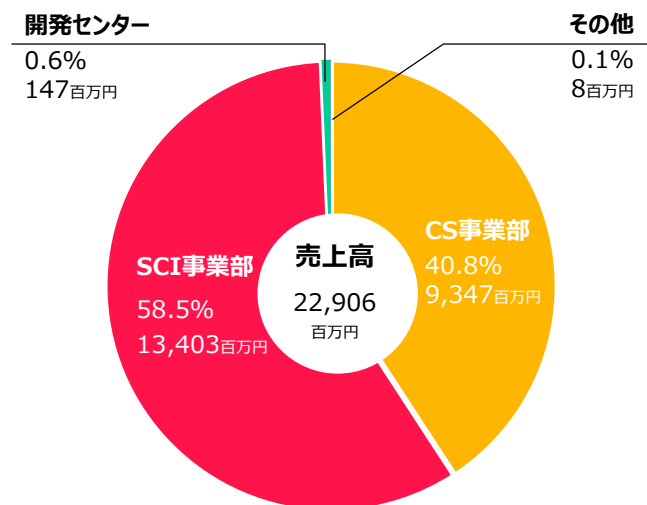
当社グループにおきましては、情報通信市場ではコネクタがリモートワークの拡大に伴う米国得意先タブレット用の需要増に加え、中華圏得意先スマートフォン用が好調で前年を上回りました。一方、家電市場においてリモコンは、サニタリー用や住宅設備用は好調でしたが、セットトップボックス用やエアコン用が減少し、前年を下回りました。また、車載市場では、カメラモジュール、タッチパネル、コネクタが世界的な自動車販売不振の影響を受け減少し、前年を割り込む結果となりました。

このような状況のもと、当社は積極的な新製品の投入と固定費削減に努めた結果、当中間期における連結業績は前年同期比減収黒字化となりました。

かかる環境下で、当社は持続的な成長に向け、新規ビジネスの発掘や新規市場の開拓に努めると同時に、パートナー様との協業やオープンイノベーションの推進による新規事業創出への取り組みを進めております。

当社はこれからも、「CREATIVE CONNECTIVITY」というスローガンのもと、社会やお客様の様々な課題を解決するチャレンジ精神をもち、独創的なアイデアを創出するクリエイティビティと、課題を解決するソリューション力を提供することにより、より良い社会と未来の創出に貢献できる企業を目指してまいります。

事業部門別の概況



※ その他：その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及び労働者派遣事業を含んでおります。

CS事業部 Connection System Division

主要製品 同軸コネクタ 基板対基板コネクタ FPCコネクタ ジャック



コネクタは、情報通信市場においては、リモートワークの拡大などに伴う米国得意先タブレット用の需要増に加え、中華圏得意先スマートフォン用が好調で前年を上回りました。一方、これまで好調に拡大してきた車載市場では米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な自動車販売不振の影響により、前年を下回りました。産機・その他市場においては、ヘルスケア関連用、太陽光発電用などが減少し、前年を割り込む結果となりました。

開発センター Research & Development Center

主要製品 通信モジュール



開発センターの主力事業の無線通信モジュールの売上の中心であるBluetooth®モジュールは決済端末用が順調に拡大したのに加え、モバイルプリンター用も堅調に推移し前年を上回りました。

SCI事業部 Sensing, Communication & Interface Division

主要製品 リモコン スイッチ カメラモジュール タッチパネル



家電市場においてリモコンは、サニタリー用や住宅設備用は前年を上回りましたが、セットトップボックス用やエアコン用が東南アジア及びメキシコの生産拠点での操業一時停止や稼働率低下の影響により減少し、家電市場全体では前年を下回りました。車載市場では、カメラモジュールなどのユニットとタッチパネルが、世界的な自動車販売不振の影響を受け、前年を大幅に割り込む結果となりました。情報通信市場においては、米国得意先スマートフォン用が減少し前年を下回りました。



決算説明会資料のご案内

QRコードをクリックすると、2021年3月期第2四半期決算説明会資料をご覧いただけます。

新製品ご紹介

高周波対応基板対基板コネクタ「RB-1シリーズ」

CS事業部



次世代通信規格5Gの本格化に伴い、通信機器に搭載されるアンテナの数が増加しておりますが、本RB-1シリーズを採用することで、複数の信号をコネクタ1つでの接続が可能となり、データ通信の大容量化・高速伝送化や機器設計の簡素化・生産性向上を実現します。



<用途>

- ・スマートフォン
- ・タブレット など



[詳細はこちら](#)



「CapDuo Touch®-S」大型曲面カバーガラス付き静電容量方式タッチパネル

SCI事業部



自動運転の実用化に向け、コックピットに表示させる情報量が増加しCIDの標準搭載に加え、メータークラスター部と合体させたTwo-in-oneディスプレイの要求に応えるべく、大型2画面対応カバーパネル付曲面静電容量方式を開発しました。



<用途>

- ・車載用センターインフォメーションディスプレイ(CID) など

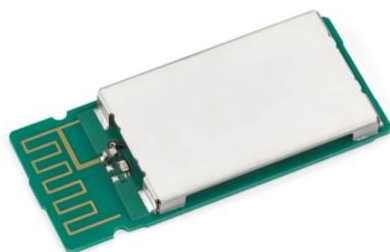


[詳細はこちら](#)



デュアルモード Bluetooth®モジュール「BT801シリーズ」

開発センター



大容量データを高速伝送できるBluetooth® Classic通信と低消費電力を特徴とするBluetooth® Low Energy通信の両方をサポートするデュアルモジュールです。



<用途>

- ・モバイルプリンタ
- ・バーコードリーダー など

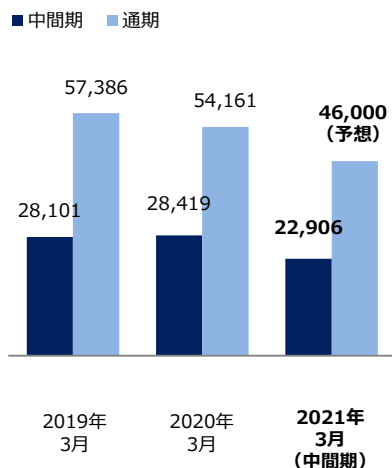


[詳細はこちら](#)

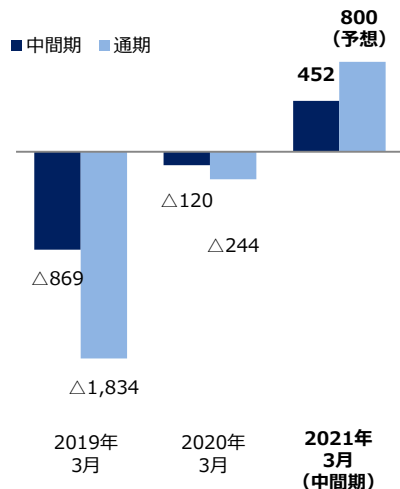


連結財務データ

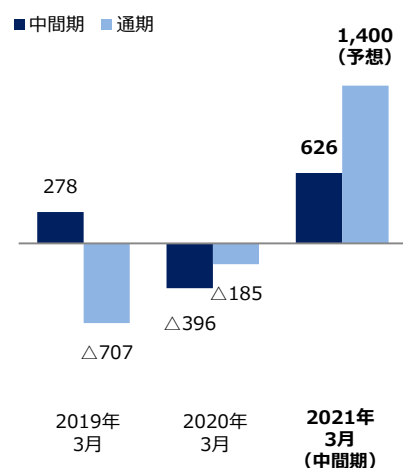
売上高 (単位: 百万円)



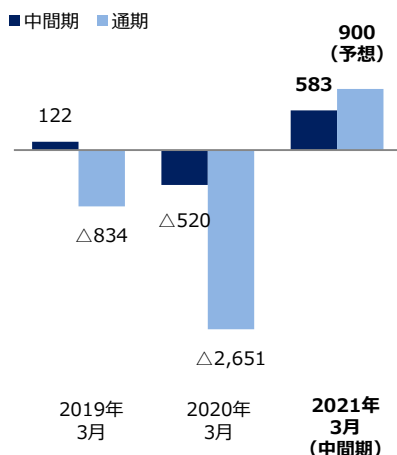
営業利益 (単位: 百万円)



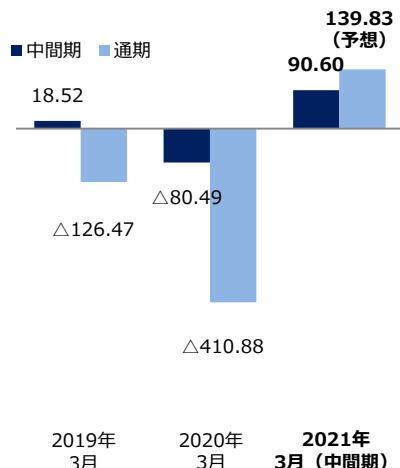
経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 (単位: 百万円)

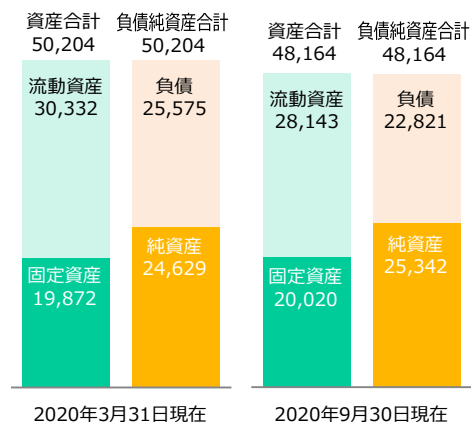


1株あたり四半期 (当期) 純利益 (単位: 円)



連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)



※ 2018年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり情報は当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

株式情報 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,596,127株
発行済株式の総数	7,500,000株
株主数	6,460名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
SMK協力業者持株会	402	6.24
日本生命保険相互会社	324	5.03
株式会社みずほ銀行	322	5.00
大日本印刷株式会社	320	4.96
日本スタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	301	4.68
株式会社三菱UFJ銀行	250	3.89
SMK社員持株会	216	3.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	180	2.79
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	156	2.43
公益財団法人昭和池田記念財団	150	2.33

（注）当社は自己株式1,052千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しており、また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には役員株式給付信託が保有する当社株式43千株を含めております。

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年4月3日
設立	1929年1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数	連結5,798名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5

役員一覧 (2020年9月30日現在)

取締役および監査役	氏名
代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	角 芳幸
取締役常務執行役員	ポール・エヴァンス
取締役常務執行役員	原 哲雄
取締役（社外）	中村 利雄
取締役（社外）	石川 薫
常勤監査役（社外）	福井 盛一
監査役（社外）	中島 成
監査役（社外）	西村 文男

執行役員	氏名
常務執行役員	大垣 幸平
常務執行役員	池尾 政信
執行役員	石橋 竹己
執行役員	後藤 光彦
執行役員	増淵 充行
執行役員	宇佐美 博
執行役員	大日方 淳
執行役員	秦 史和
執行役員	大坪 実喜男

株式に関するお問合せ先・お手続き先

1. 配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	口座を開設された証券会社にご照会ください。
証券会社に口座を開設されていない（特別口座に登録されている）株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 （0120-232-711 通話料無料）にご照会ください。

買取・買増請求制度の例（170株ご所有の場合）



2. 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先にご連絡ください。

SMK株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5
TEL.03-3785-1111 FAX.03-3785-1068

※CapDuo TouchはSMK株式会社の登録商標です。

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。SMK株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

※その他記載されている社名・商品名などは、各社の商標および登録商標です。